

ゆかさんと私

印象文

(明るい人)

B グループ

学籍番号 7512147

名前 ファンタイリーン

1. ゆかさんの印象

私たちのグループには4人がいます。今回の課題は日本人の学生は留学生について、そして留学生は日本人の学生について印象文の書き方にしました。ということで、私はゆかさんについて印象文を書きます。ところが、グループを決めた日から先週の授業まで4回行ったが最初の日にゆかさんは健康診断に行ったためあわなかった。4回目の授業、皆で散歩計画を立てましたが私は見学で能代に行って、結構遠いから散歩に参加できなかった。ですから、ゆかさんと話しの機会はたった2回の授業の時間内でした。私にたいして初めての印象はゆかさんはアジリティで明るいひとでした。初めての紹介には今土木1年と聞いて、私は土木についてのイメージはかなり辛そうで男性でも大変です。だから、私はゆかさんは根気が強そうな人だと思いました。二回しか会ってなかったがゆかさんは話しかけやすいひとだと思います。これからも話の機会まだありますのでゆかさんそしてグループのみんなをお互いに理解していきたいと思います。

2. 特に聞きたいテーマ

先週の授業にパートナーと話し合いをしました。私と啓吾くんは二人とも男性でいろいろ話しました。二人はスポーツがすきなのでインタビューにスポーツはテーマとして私のことを話すと決めました。やっぱりスポーツだとテーマはいっぱいあるそうです。ゆうかさんとはなすとき、今回は話しがちょっと難しいと思います。最初は今何をやりたいのか、興味を持っていることについて話そうと思ったが男性と女性の興味がかなり違ってインタビューの最後まであまり話せないかもしれません。さらに、今は料理の勉強や車の免許をとることについてちょっとだけ話しましたがやっぱりそれともテーマにすると絶対話は詰まらなくなると思います。ゆうかさんは勉強のことを話そうと言われましたがそれもあまり面白くないテーマだと思います。私とゆうかさんは学科違うからお互いに話分かり合うことは難しいです。今はどうやって面白く話せるのかを考えています。テーマは旅行とかゆうかさんの故郷(岩手)の文化や方言や食文化など話そうと思っています。私は日本に来てもう3年経ったが日本の文化はあまり分かりません。さらに、日本の各地方にも日本人でも知らない言葉、習慣などいっぱいあるはずです。今回のインタビューで岩手県について話したいと思います。さらに、2011年3月11日に起こった強大地震、津波のことも聞きたいと思います。

3. はなしの結果:

ゆかさんのはなしを通じて、岩手県のことをいっぱい手に入れました。岩手県の食文化やお祭りなどいろいろ紹介してくれました。やっぱり地方によってその所の特色のことは全然違います。同じなものでも地方によって味や形なども違います。例えば秋田県は秋田小町が有名ですからせんべいなども秋田こまちの味をもつことが特徴ですが岩手県のはと麦は美味しいですから岩手のせんべいのおいしさは秋田のせんべいと違うはずです。詳しくは次のように説明します。

第一回のはなし：

第一回のはなしは今回のレポートのテーマについてあまり進まなかった。

第二回のはなし：

今回のはなしはほとんど岩手県の食文化（例：お正月の食べ物など）や、有名なお祭り、観光地など、さらに2011年3月11日のことについてはなしました。

まずは岩手県の食文化：岩手県は餅食文化圏。お正月に限らず、祭り、年中行事、冠婚葬祭の席には欠かすことができない餅料理。そのレパートリーは300種以上。一関周辺には、餅で客人をもてなす餅本膳料理の習慣が今も残っていると教えてくれました。後で調べますとこんな面白いことがあります。岩手県南地域の県北地域には、正月、小正月、節句、さなぶり、神々の年越しなど、年中行事や祝い事、季節の区切りには餅をつき、餅料理を食べる習わしが伝承されます。その歴史は、江戸時代に武家の年中行事が商家へと伝わり、その後、農家に伝わるようになりなるといわれています。ところが、当時の農家にとって白米は貴重品。自分たちは粉にたくず米と雑穀と混ぜた「しな(しいなもち)」にして食べるのが一般的でした。それをよりおいしく食べるために、いろいろなもち料理が考え出されたのです。小豆、枝豆、生姜、クルミ、沼エビ、ドジョウなどその料理の数は300種を超えるとされます結婚式や法事など祝儀・不祝儀の席にも餅料理は欠かせません。「もち振舞い」とも呼ばれる餅の本膳料理には、あんこ餅、雑煮、くるみ、なます（大根おろし）、漬物などが漆塗りの高膳に乗って出てきます。さらに、結婚式の朝には隣近所へも朝もちと称してあんこもちを重箱に入れて配り習わしもあるなど、この地域では餅が生活のあらゆる場面に登場してくるのですということがあります。さらにガルギールという野菜があってそれを利用し、うどんや饅頭やせんべいなどをつくっています。

次に岩手県のお祭り：よさこいという踊りを多くのチームが集まって踊るお祭りがあります。そして自分の地元から遠いですが盛岡さんさ踊りが有名と話しました。ついでに岩手の有名な観光地を紹介してくださいと言って、ゆかさんは世界遺産の中尊寺を紹介してくれました。

最後に2011年の強大地震のことを話そうと思ったが結構残酷のはなしだと思ってその時あったこと、やったことなどぐらいはなしました。

テーマ以外のはなし：

インタビューする時、時々別のはなしを話しました。ゆかさんの携帯電話にはお兄さんの子供の写真はいっぱいあって写真を見せながら喜びのような笑顔で紹介してくれまし

た。本当にとってもかわいい子です。さらに今週の月曜日にBグループの全員で国際交流会館で各国の料理を作って飲み会をやろうとおもったがそちらのキッチンが使えないので担担麺で行いました。帰るとき色々話しました。ゆかさんは今一人暮らしでちょっと古いアパートに住んでいると話しました。色々不便があったが契約は2年なのでそのときまで我慢して、そしてアルバイトも頑張っってよりいいところに引っ越ししたいと話しました。とてもいい考え方と思いました。18歳の時の私はこんな考え方はまだなかったので言わないがちょっと恥ずかしかった。

4. まとめ

ゆかさんとはなしのおかげで岩手県のことをいっぱい学びました。私去年ボランチアで岩手に行ったことがありますがあまり時間がなかったのでどこでも行けなかった。今回のはなしでもう一度行きたいと思います。

最初、どうやってはなすのか悩んでいましたが話したら逆に結構話せました。二人とも初対面なので相手はどんなひとか、どんな性格を持っているのか心配しましたがゆかさんの話し方は面白くて、聞かれたことはなかなか答えられないとか説明できないことがあったら一生懸命探して、写真や情報など分かるように見せてくれました。とてもありがたいことでした。ゆかさんとはなして楽しかったと思っています。